

【第21回NICE TV放送番組審議会議事概要】

1) 開催日時

2019年3月4日(月) 午前10時00分～午前11時20分

2) 開催場所

魚津市役所 第一会議室

3) 出席委員(敬称略)

委員(審議会会長)	池上 嘉昭	(魚津ロータリークラブ)
委員	山西 弘	(魚津市美術協会)
〃	大崎 雅子	(社会福祉法人海望福祉会あんの里)
〃	河内 美穂	(社団法人魚津法人会女性部会)
〃	小林 正伸	(魚津商工会議所青年部)
〃	高塚 妙子	(魚津商工会議所女性会)
〃	四十万 隆一	(魚津市副市長)

4) 議題

(1)NICE TV自主制作番組について

- ①ナイスキャッチUOZU 2018年7月8日～放送回
- ②ナイスキャッチUOZU 2019年1月13日～放送回
- ③まいぷれテレビ 2019年2月10日～放送回

(2)魚津市制作番組について

- ①まちかど魚津 平成30年10月前半号

(3)2018年度NICE TV視聴者アンケートについて

5) 議事概要

(1)-① ナイスキャッチUOZU「かがやけ星の杜」について

- ・今年度閉校する学校は孫2人が通っており、関心ある話題であった。
- ・「星の杜小学校」の星をイメージしたオープニングタイトルがキラキラして惹きつけるものがあった。
- ・松倉小学校の獅子舞について、地元の方たちが孫に教えているかのようで微笑ましかった。
- ・学校が統合するにあたっての地域の方々の想い、寂しさなども入れてはどうか。

(1)-② ナイスキャッチUOZU「魚津工業高校ラグビー部 花園へ」について

- ・工業高校ラグビー部の様子を見て、チームマネジメントのあり方が変わってきているように感じた。
- ・選手たちが楽しくラグビーをする姿、体格が変わってきているように感じた。
- ・チームをこのように導くのが監督なのか、キャプテンなのか、地方のチームも新しい時代に入ってきたことを感じた。

(1)-③ まいぷれテレビ「沖田泰心堂」について

- ・番組を見て初めて表具師という伝統ある技術を持つ人が地元にいることを知った。
- ・NICE TVは歴史を掘り下げるのが得意だと思う。沖田さんの経歴を紐解くことで、番組に深みが出て後継者育成にもつながるのではないかと思う。

その他全体を通して

- ・祭りを中継することで、祭りに人が減るのではないか。
 - ・地元の小さなことを取り上げる姿勢を忘れないでほしい。
 - ・NICE TVには、これからも「元気魚津」を発信してほしい。
- 等の意見がありました。

(2)-① まちかど魚津について「10月前半号」について

- ・コーナーの放送中にタイトルを常に表示することで、途中から見た人にも分かり易くなると思う。
- ・テロップのデザインと大きさに工夫がほしい。
- ・武士が出てくるコーナーは工夫と知恵を感じた。ホームページやSNSも連動してさらに情報を出すと良いのではないか。

委員からは以上のような意見がありました。NICE TVでは放送番組審議会でもいただいたご意見を参考に今後もより地域に密着した番組づくりを目指してまいります。